

## 基本目標（2）

**「まなび」の芽を  
育てるために、  
みんなで水や養分を  
与え合おう！**



## 目標① 学区を基盤とした世代間交流を活発にしよう！

### ★ この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◇ 多くの子どもたちが、地域行事やボランティア活動に参加しています。
- ◇ 多くの大人たちが、地域の子どもたちのために活動しています。
- ◇ 学校・家庭・地域の連携・協力関係が築かれています。
- ◇ 学校が地域コミュニティの拠点として、子どもから高齢者まで、多くの住民の集い・活動の場となっています。

### ★ 目標達成に向けての考え方

人と人とが活発に交流しあうことで、まなびや活動の輪が広がり、そこから地域社会の連帯感が生まれていくことが期待されます。学区を基盤として、子どもと大人がともに学び、異世代交流を深めていくことによって、お互いに顔の見える関係や、人と人とのつながりを育み、地域活力の基盤としていくことが重要です。

- ◇ 家庭・学校・地域が連携・協力して、地域の中で子どもたちを見守り育て、次世代のまちづくりの基礎となる人材育成へとつなげていくことが大切です。
- ◇ 子どもから高齢者まで、地域のあらゆる人たちが参加・参画しやすい行事・体験機会等を、市民・地域の手で創り上げていくことが大切です。
- ◇ 子どもの意見を地域活動に活かし、課題を共有する市民同士が課題を解決していくことができるように交流・連携を進めていくことが大切です。

みんなで力を合わせて進めていこう！ ～それぞれの役割～

#### 市民

- 地域活動や学校を拠点に開催される行事に積極的に参加しよう。
- あいさつなど日頃から声をかけあおう。
- 知恵・技能・体験等を活かそう。

#### 地域活動等

- 様々な団体等と連携・協力しながら、世代間交流事業を企画・実施しよう。
- 子どもの意見を取り入れ、子どもが主体的に活動できる事業を企画・実施しよう。

#### 関係機関・団体

- 様々な団体等と連携・協力し、お互いの得意分野を活かしながら、事業を企画・実施しよう。
- 子どもが主体的に活動できる事業を企画・実施しよう。

#### 行政

- 学校を「地域コミュニティの拠点」と位置づけ、地域ぐるみで子どもの育ちを支える環境づくりを進めます。

★ こんなことに取り組んでいきます！

- ◇ 総合的な学習の時間などを利用した職場体験学習や郷土学習など、子どもが地域とのつながりを深めるための体験的な学習の充実に努めていきます。
- ◇ 地域における多世代が交流する地域活動を、まちづくり協議会の活動を中心に支援していきます。
- ◇ 新・高浜小学校をモデルに、学校を子どもから高齢者まで、地域住民が集う「地域コミュニティの拠点」として位置づけ、建替え等に合わせて公民館など公共施設の諸機能を複合化・集約化し、将来を担う子どもたちの学び舎として、地域ぐるみで子育て・子育てを支えていくための環境づくりに努めていきます。

ふれあい農園



子ども菊人形づくり



防犯・防災運動会



4町合同運動会



## 目標② 教え・教えられる仲間づくりを築いていこう！

### ★ この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◇ 自分が持っている力（知識・技能・経験など）を、他の人へ伝えたり、地域のために役立てていこうと行動する市民が増えています。
- ◇ 市民同士が学び合うことにより、お互いの力が高まり、ともに成長しています。
- ◇ まなびを行う市民・団体・関係機関等がつながりあうことにより、交流が深まるとともに、新たなまなびとの出逢いが生まれています。

### ★ 目標達成に向けての考え方

まなびの成果を個人の中にとどめず、他の人に教えたり、地域のまちづくりに活かしていくことができるよう、地域の人材の活用や活躍の場・仕組みづくりを進めていくことが重要です。

- ◇ まなびの核となる人材の掘り起こしを進めていくことが大切です。
- ◇ まなびの成果や知識・技能・経験を活かし、社会へ還元することにより自らを高め、ともに学び、育つ「共育」の機会を豊かにしていくことが重要です。
- ◇ 人と人、人とまなびがつながりあうように、まなびに関する情報・活動等を収集・発信していくことが必要です。

みんなで力を合わせて進めていこう！ ～それぞれの役割～

#### 市民

- 特技・経験・余暇等を活かし、サポーターや指導者としてだけでなく、まずはちょっとしたお手伝いなど、それぞれができる範囲で、生涯学習活動に参加・参画していこう。

#### 地域活動等

- 学んだ成果（知恵・技能・体験など）を発揮できる場をつくっていこう。
- 人材を発掘し、活用しよう。

#### 関係機関・団体

- 学んだ成果（知恵・技能・体験など）を発揮できる場をつくっていこう。
- 人材を発掘し、活用しよう。

#### 行政

- 人・活動に関する情報を収集・発信します。
- 活躍の場を関係機関・団体等と連携しながら創出していきます。



★ こんなことに取り組んでいきます！

- ◇ かわら美術館アートサポートメンバーや、図書館の読み聞かせボランティア、タカハマ！まるごと宝箱発表、学校教育における市民講師など、「教える」「発表する」など多様な形でまなびの成果や知識・技能・経験等を活かせる場づくり、人材の掘り起こしを進めていきます。
- ◇ 学んだり体験した子ども・若者たちの「誰かのために役立ちたい」という想いを育み、教えたり活動を支える側に回ることができるような機会の創出、支援を行います。
- ◇ スキルアップを目指す指導者の支援機会を創出するなど、まなびを支える人材の育成に努めていきます。

タカハマ！まるごと宝箱



美術館アートサポートメンバー



ボランティアによる本の読み聞かせ



囲碁教室



## 目標③ まなびの資源を有効活用しよう！



### ★ この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◇ 高浜市の出身者や高浜にゆかりのある人材などが掘り起こされ、連携・協力が進み、豊かなまなびが展開されています。
- ◇ 大学等の専門機関や学識経験者、企業やNPO（特定非営利活動法人）、他の自治体など、多様な主体と連携・協力した事業・活動が行われています。
- ◇ 生涯学習・文化・スポーツ施設のあり方検討が進み、複合化・集約化といった再編や長寿命化対策が計画的に行われています。

### ★ 目標達成に向けての考え方

まなびは「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」が基本的な考え方であり、まなびを行う機会や環境は、民間を含めて極めて多様です。大学・研究機関（研究者）といった専門機関や企業・NPOなど多様な主体との連携・協力により、人材や情報、施設などまなびの資源を有効活用し、まなびの幅を広げ、豊かにしていくことが大切です。

- ◇ 大学等の専門機関や学識経験者、高浜市の出身者や高浜にゆかりのある人材、企業・NPOなどとのつながりを広げ、活かしていくことが大切です。
- ◇ 市の将来の人口構造の変化や財政見通しなどを踏まえ、生涯学習・文化・スポーツ施設のあり方を検討し、再編等を計画的に進めていくことが重要です。

みんなで力を合わせて進めていこう！ ～それぞれの役割～

#### 市民

- 人材・情報・施設などの資源を有効活用しよう。
- 持っている情報を提供しよう。

#### 地域活動等

- 多様な主体と連携・協力しながら、事業・活動の幅を広げていこう。
- 持っている情報を提供しあおう。

#### 関係機関・団体

- 多様な主体と連携・協力しながら、事業・活動の幅を広げていこう。
- 持っている情報を提供しあおう。

#### 行政

- 外部資源に関する情報収集に努め、つながりを広げ、活かしていきます。
- 市の生涯学習施設のあり方に対する考え方を、市民に丁寧に伝えます。

## ★ こんなことに取り組んでいきます！

- ◇ 大学等の専門機関や学識経験者、高浜市の出身者や高浜にゆかりのある人材、企業・NPOなどと連携・協力したまなびを展開していきます。
- ◇ 新・高浜小学校を、公共施設のあり方のモデルとして、公民館や体育センター機能などの複合化・集約化を進め、子どもから高齢者まで地域住民が集う「地域コミュニティの拠点」としての運営を進めていきます。
- ◇ かわら美術館は、一般的なイメージの美術館の枠にとどまらず、市民・団体・関係機関等と連携・協力し、まちづくりの原動力となる「高浜市が好き」という想いが高まるよう、先人たちから受け継いできた文化を守り、将来へ伝えていく場として、高浜市の魅力や自慢を受発信する場として、また、市民の知的好奇心や創造意欲を高め、文化・芸術、生涯学習、産業・観光、まちづくりなど市民の様々な活動を下支えする場を目指していきます。
- ◇ 図書館は、これまで培ってきた「子どもに特化した図書館」という強みを活かすとともに、「ひととまちを育む場」として、市民の力も活かしながら、市民の「知りたい」「行動したい」といった想いを下支えする相談・支援機能、読み聞かせや読書活動などを通じた市民の交流機能を重視した運営を目指します。
- ◇ スポーツ施設の改修・長寿命化を計画的に進めます。また、民間事業者の力を活かしたスポーツ拠点づくりを進めます。

美術館ロビーコンサート



専門家の招聘・連携



